

令和3年度 学校経営計画書

岡山県立邑久高等学校

○本校のミッション(使命、存在意義)

瀬戸内市唯一の県立高等学校として、地域の文化・教育の中心的な役割を担い、地域の方々に信頼される学校を目指すとともに、本校の教育目標である「健康明朗」「質実勤労」「自律協同」「敬愛親和」に基づき、将来地域を担う人材を育成する。

○学校内外の環境分析

- 1 生徒は素朴で真面目であり、地域学、部活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組んでいる。部活動についてはヨット部等が全国大会でも活躍している。
- 2 生徒の進路は大学等進学から就職まで多様である。また本年度から1人1台端末が導入されることもあり、教職員共通認識のもと、より一層の授業改善や指導体制の強化が必要である。
- 3 保護者、同窓会、地域ともに本校への期待感は強く、支援体制も充実している。特に昨年度より、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と高等学校魅力化推進事業(リージョナルモデル)の指定を受け、地域の要望に応えた、地域と連携・協働した学習活動の一層の展開が可能となっている。地元の中学校からの志願者数増加に向けて、魅力づくりをさらに推進し、それらを積極的に発信していく必要がある。
- 4 地元の中学生数は減少傾向であり、交通の便が比較的良いことや近年の私立志向などがあり生徒募集に苦慮している。生活ビジネス科が全県学区であることもあり、東備学区外からの進学割合が増加している。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

- 1 中学生に支持され、地域や保護者から信頼される魅力ある学校づくり
- 2 知・徳・体の基本を身に付け、学習を中心とした学校生活に主体的に取り組むことで自分自身の将来を切り拓いていくことができる生徒の育成
- 3 個々の生徒に真摯に向き合い、協働して必要な教育を行える指導体制の構築

○令和3年度の学校経営目標・計画

- 1 学力向上…学習習慣の確立と「わかる」授業づくりへの工夫
計画：家庭学習時間が確保できるよう生活習慣の見直しもあわせた指導や教科指導上の工夫を行う。
授業規律のスタンダードに継続して取り組み、あわせて授業スタンダードを実践する。
1人1台端末の活用方法の研究と実践を行い、「わかる」授業づくりに努める。
校内での授業参観にとどまらず、校外での授業参観に積極的に参加する。
- 2 地域連携教育の深化…教科における地域連携の推進とボランティア等への主体的参加
計画：地域資源を活用した教科指導を推進する。
地域の企業や各種団体と連携・協働し、インターンシップやボランティア、地域イベントへの参加等生徒が地域で学習・活動できる場を提供する。
- 3 生徒支援の充実…積極的な生徒理解と援助及び部活動の推進
計画：面談や普段の声かけを通して生徒理解に努めるとともに、教育相談や進路相談等を通して個々の生徒が課題を解決し目標をもって充実した学校生活を送れるよう支援する。
部活動においては、他校との合同練習や校外試合への積極的な参加等に努め、一層の活性化・充実を図る。